

「健康日本21 あいち新計画」の推進に関する平成26年度取組状況

「健康日本21 あいち新計画（平成25年3月策定）」に基づき、計画の基本目標である「健康長寿あいちの実現」を目指して、「あいち健康の森健康科学総合センター」を拠点に県民や行政・関係機関・関係団体等が連携を図り、今年度は以下のとおり健康づくり事業を実施した。

基本方針（I）：「生涯を通じた健康づくり」

子どもから高齢期に至るまで、すべての世代、すべての県民の生涯を通じた健康づくりの取組を推進する。

ア 健康づくり推進協議会の開催

健康づくりを総合的かつ効果的に推進するため、健康づくり推進協議会を開催した。

第1回 日時：平成26年6月3日

第2回 日時：平成27年2月6日

イ 新しい健康づくりプラン推進事業

今後の健康増進施策の推進と関係機関の連携等「健康日本21 あいち新計画」の推進のため、健康増進部会を開催した。

日時：平成27年1月22日

内容：平成26年度の主な取組、目標項目の進捗状況

ウ 健康教育活動推進事業（新規事業）

県民が自発的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりに関する知識普及のため、健康教育講座の地域開催を増やし、健康教育の機会の充実を図った。

また、ICT（WEBサイトシステム）による健康情報発信ポータルサイト「あいち健康ナビ」をスタートさせ、県民の「誰もが、いつでも、どこでも」信頼性の高い健康情報を手に入れられる仕組みを構築した。

○委託先：（公社）愛知県医師会

健康教育講座 24回（地域での開催を11回追加）

ICT（情報発信WEBサイトシステム）：

平成26年9月30日開設

（12月末：1,166アクセス）

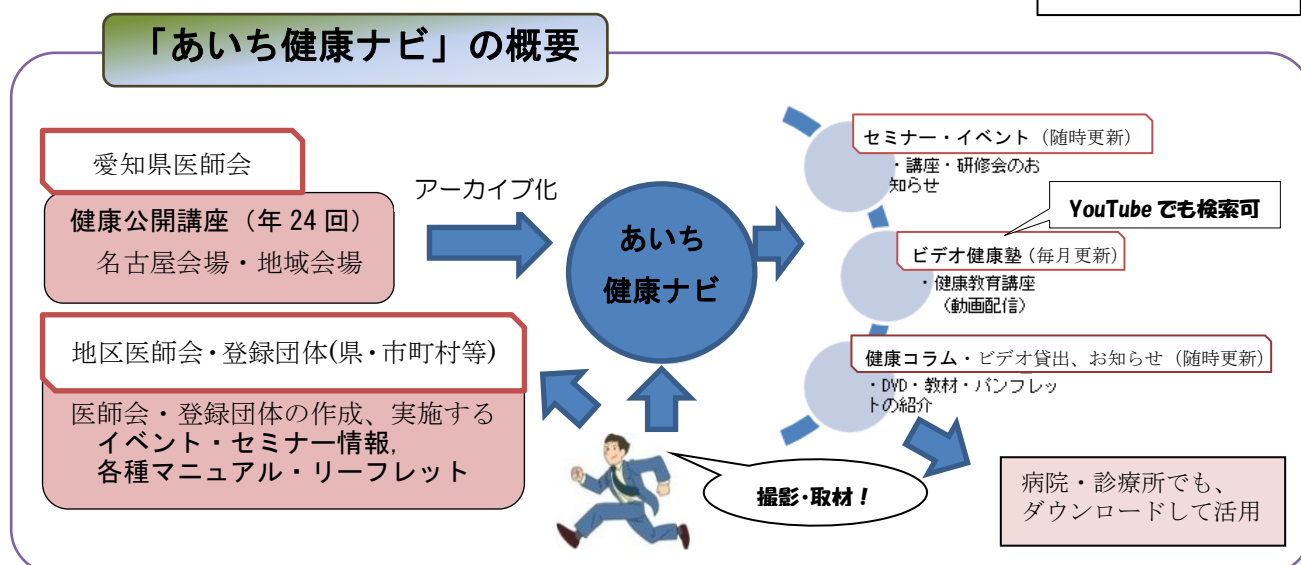
発信内容：健康教育講座の動画

健康づくりイベント情報

コラム、お知らせ等を随時配信

<https://ssl.aichikenkonavi.com/>





基本方針 (Ⅱ) : 「疾病の発症予防及び重症化予防」

病気の発症を予防し、合併症の予防・症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進する。(疾患分野：がん、循環器、糖尿病、COPD (慢性閉塞性肺疾患)、歯科)

ア 慢性腎臓病 (CKD) 啓発事業

慢性腎臓病の予防や早期発見を啓発するためのキャンペーン活動や健康相談を実施する。

○委託先：(公財) 愛知腎臓財団

日 時：平成 27 年 3 月 (予定)
内 容：街頭キャンペーン、健康相談ほか

イ 糖尿病指導者養成事業

糖尿病患者及び予備群の増加を抑制するために、正しい予防知識の普及を目的に地域及び学校教諭を対象に研修会を開催した。

○委託先：(公財) 愛知県健康づくり振興事業団

日時：平成 26 年 7 月 25 日 (参加者 61 人)、8 月 28 日 (参加者 47 人)
内容：「学童期から思春期の生活習慣病予防研修 (肥満・糖尿病を中心に)」
講師：あいち健康の森健康科学総合センター 医師 村本あき子氏 他

ウ 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 対策事業

未設定であった目標値等の設定のため、「COPD に関する医療連携実施状況等実態調査」を実施した。また、問診票等を活用して早期発見に努める医療保険者、医療機関を増加させるとともに、病院、診療所における医療連携を促進するため、COPD の医療連携に活用できる啓発リーフレット「COPD 診療のエッセンス 2014 愛知県版」を作成し、配布する予定である。



○慢性閉塞性肺疾患（COPD）対策会議の開催

第1回：平成26年8月4日

第2回：平成26年12月24日

○実態調査の実施

日時：平成26年8月～9月

内容：病院、診療所及び医療保険者へ「COPDに関する医療連携実施状況等実態調査」により、

現在の医療連携状況、問診票「COPD-PS」等の活用状況を調査。

回答状況：127保険者（87.6%）：市町村国保54（100%）、健保組合等74（80.2%）

614医療機関：診療所551（11.7%）、病院63（27.9%）

調査結果：「問診票」を活用している保険者：1／127保険者（0.8%）が活用と回答。

COPDに関する医療連携状況：396（64.5%）施設が実施と回答。

○啓発リーフレット「COPD診療のエッセンス2014愛知県版」

内容：COPD問診、スクリーニング、併存症、治療、医療連携に関する啓発リーフレットについて対策会議で検討及び作成（10,000部）

配布先：医療機関、市町村、医療保険者及び関係機関・団体等

（平成27年3月配布予定）

エ 特定健康診査等指導者養成事業

保健指導を行う医療保険者の保健師・管理栄養士等に標準的な健診・保健指導の研修会を開催した。 ○委託先：（公財）愛知県健康づくり振興事業団

○計画・評価編：「データ分析からアクションへ ～実際の保健事業につなげるために～」

日時：平成26年6月11日 修了者：141人

講師：あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代氏 他

○基礎・技術編：「基本を大切に、確実な保健指導を実施しよう！」

日時：平成26年9月9日・10日修了者：200人

講師：あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代氏

基本方針（Ⅲ）：「生活習慣の見直し」

生活習慣を改善し、健康の保持増進、生活習慣病を始め疾患の危険因子の低減に取り組む。（分野：栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、喫煙、飲酒、歯・口腔）

ア 食育推進協力店登録事業

飲食物の栄養成分表示を参考にバランスのとれた食習慣を身に付けることは健康の保持増進に重要である。そのため、栄養表示や食育の情報提供を行う「食育推進協力店」の増加を図り、県民に対する適切な栄養素摂取の普及啓発を実施した。

- 6月の食育月間において、野菜摂取量の増加を啓発するポスター及びリーフレットの配布や「野菜たっぷりメニューの提供」等の取組みを実施。
 - ・ポスター及びリーフレット配布
- 「食育推進協力店」（平成26年12月末現在） 2,674店

イ たばこ対策推進事業

喫煙の健康影響に関する知識の普及、未成年者への喫煙防止（防煙）対策、受動喫煙を防止する環境づくり、禁煙希望者への禁煙支援など喫煙対策事業を実施した。

- たばこ対策推進会議の開催 平成27年2月16日
- 指導者養成講習会の開催 平成27年2月2日
- 地域喫煙対策の推進（未成年者の喫煙防止に向けた健康教育の実施）
- 受動喫煙防止対策（受動喫煙防止対策実施施設認定事業、普及啓発、研修会）
- 「世界禁煙デー」・「禁煙週間」における街頭キャンペーン

世界禁煙デー及び禁煙週間に合わせ、受動喫煙の害、禁煙や喫煙マナー向上の啓発

<キャンペーン内容>

日時：平成26年5月30日 午後0時30分から

場所：名古屋駅前 ナナちゃん人形周辺

参加団体：愛知県医師会、愛知県歯科医師会、愛知県薬剤師会、愛知県歯科衛生士会、愛知県臨床検査技師会、愛知県小中学校長会、愛知県健康づくり振興事業団、愛知労働局、健康保険組合連合会愛知連合会、全国健康保険協会愛知支部（順不同）

基本方針（Ⅳ）：「社会で支える健康づくり」

「ソーシャルキャピタル（※）」の醸成による地域力の向上や社会環境の整備を図り、地域や人とのつながりを深め、社会全体として健康を支え、守る仕組みを作る。

※ ソーシャルキャピタル：人々の協調行動を活発にすることにより、社会の効率性を高めることのできる「信頼」、「規範」、「ネットワーク」といった社会組織の特徴（アメリカの政治学者ロバート・パットナムの定義）

ア あいち健康マイレージ事業 （新規事業）

県民が生涯を通じて自主的・積極的に健康づくりに取り組むことを社会全体で支える環境づくりのために、今年度より、「あいち健康マイレージ」事業を県と市町村の協働事業として開始した。

- 事業内容：<http://www.pref.aichi.jp/0000071847.html>

県民が特定健診などの健康診断やスポーツ活動への参加など、健康づくりの取組をポイントとして貯め、一定以上のポイント獲得者は県内の協力店で様々なサービスが受けられる「優待カード」が取得できる。



- 実施市町村（開始時期）：尾張旭市（H26. 4）、田原市（H26. 6）、あま市（H26. 9）、蒲郡市（H26. 9）、犬山市（H26. 11）、岩倉市（H26. 11）、安城市（H26. 12）、愛西市（H26. 12）、扶桑町（H27. 1）、稲沢市（H27. 3 予定）
 - * 来年度実施予定：約 20 市町村
- 役割分担：県；「優待カード」「協力店認定ステッカー」「啓発チラシ」の作成配布、協力店の募集及び認定事務（名古屋市及び県内全域で展開する企業、店舗）
 県保健所；事業啓発、協力店募集及び認定事務（保健所管内企業、店舗）
 市町村；チャレンジシートの作成、事業啓発、協力店募集（市町村内の企業、店舗）
 優待カードの交付（平成 26 年 12 月末現在交付枚数：128 枚）
- 協力店の認定状況（平成 27 年 1 月末現在）
 協力店舗数：430 店舗

イ 市町村健康づくり技術支援事業

「あいち健康プラザ」が有する実践的な健康づくりに関する技術等を活用し、市町村が行う健康づくり事業や健診データの分析・評価のほか、市町村健康増進計画の見直し、健康関連施設の有効活用などに対して助言や指導を行い、市町村の健康づくり技術や指導者の資質向上を図り、県民の健康づくりの環境整備を推進した。

○委託先：（公財）愛知県健康づくり振興事業団

- 保健事業リニューアル型
 - ・ 糖尿病予防教室を効果的な魅力あるプログラムへ改善（豊橋市）
 - ・ 効果的で取組やすい運動指導等の情報提供、教室後の評価方法の検討（豊橋市）
 - ・ 健康データの分析ができる健康ポイント制度の構築（大府市）
- 政策立案型（津島市）
 - ・ 国保データベース（KDB）を活用し、効果的なデータ収集・分析・評価
 - ・ 事業の課題を明確にし、効果的な評価法を用いて計画の立案、事業実施

ウ 圏域健康づくり推進特別事業

「健康格差の縮小」を実現するため、保健所において市町村等の健康格差に関する情報を収集・分析し、地域の住民等に情報提供するとともに、得られた課題の解決に向け管内市町村・関係団体・地元企業及び商工会等と連携した取組を実施した。

- 実施主体：保健所実施（二次医療圏単位） 研修会、出前講座、地域課題分析等調査研究事業など
 - 大型ショッピングセンター内での歯と口の健康週間、禁煙週間啓発キャンペーン
 - 労働基準協会会員に職場健診結果の見方と結果を活用した健康管理の取組み研修会
 - 地元大学との連携による地域での喫煙対策啓発キャンペーン
 - 健康まつりでの受動喫煙啓発、COPD の認知度向上等啓発活動
 - 商工会議所、企業従業員を対象にした健康教育

<あいち健康プラザにおける取組>

◆健康づくり事業

- 健康度評価事業（医療連携（I）、A、B、F、総合、簡易の6コース16種類）
現在の健康状態を総合的に評価した上で、その人に適した生活習慣改善法を提案する。
 - 実践指導事業
 - ・健康づくり教室（1日実践クラス、宿泊型健康づくりプラン、健康カレッジ）
 - ・トレーニング施設の運営
 - 指導者養成研修事業
 - ・健康づくり指導者セミナー（行政コース、企業コース）
 - ・健康づくりリーダーバンク制度
 - 研究開発事業
 - 支援指導事業
 - ・施設内・外支援事業（市町村や企業、地域の依頼に応じた講義や実技指導）
 - ・視察の受け入れ
 - ・教育普及事業（健康公開講座、健康科学教室）
 - ・学校教育支援事業（出前講座）
 - ・ネットワーク事業
（医療機関や健康増進施設等の連携促進）
- ◆「健康寿命を伸ばそう！サロン」との共催
厚生労働省の「スマートライフプロジェクト」事務局主催の「健康寿命を伸ばそう！サロン」を「ネットワーク事業健康増進施設連絡会議」と連携して、企業・団体・自治体と情報共有・交流の場として開催された。
- 平成26年12月9日（参加者168人）



健康づくりの総合的な情報発信

- 総合情報ライブラリーの運営
 - ・ホームページ、Eニュースによる情報提供
 - ・情報・広報誌の作成（「あいち健康プラザニュース」4半期ごと発行）
- 施設PR事業
 - ・健康増進普及月間特別行事「県民健康祭」
平成26年9月20日、21日（イベント参加者15,147人）
 - ・「県民健康の日」記念行事の開催
平成26年6月15日（イベント参加者6,238人）